

東京放射線

Tokyo Association of Radiological Technologists

2025年
3月号

Vol.72 No.836

巻頭言

変化の時期 関 真一

会 告

2024年度城西支部研修会
第158回日暮里塾ワンコインセミナー

お知らせ

▶ 2024年度第15地区研修会
2024年度第11地区研修会
会費納入のお願い

報 告

2024年度公益社団法人東京都診療放射線技師会 厚生調査委員会アンケート調査①
使用済み切手の寄付報告



公益社団法人東京都診療放射線技師会
<https://www.tart.jp/>

Canon

ノイズ低減処理技術

Intelligent NR

DEEP LEARNING

ノイズ低減はここまで綺麗に。
キヤノンが創出する次世代スタンダード。

X線画像に含まれるノイズの除去方法を学習。ディープラーニング技術により深層畳み込みニューラルネットワークを生成し、CXDI*が持つ高い分解能を維持しながら低線量領域での高いノイズ低減効果を発揮します。従来のノイズ低減処理からノイズ量を最大50%低減し、大幅な粒状性の改善を実現しました。

CXDI-Elite
DIGITAL RADIOGRAPHY



*本システムはノイズ低減処理の設計段階でディープラーニング技術を用いており、本システム自体に自己学習機能は有していません。
*Intelligent NRはキヤノンのデジタルラジオグラフィCXDIシリーズのノイズ低減処理技術です。

【一般的名称】 X線平面検出器出力読取式デジタルラジオグラフィ
【販売名】 デジタルラジオグラフィ CXDI-Elite
【認証番号】 304ABBZX00003000
【製造販売元】 キヤノン株式会社

L000279

キヤノンメディカルシステムズ株式会社 <https://jp.medical.canon>

Made For life

新型ハイブリッドサーベイメータ RaySafe 452

FLUKE®
Biomedical



半導体とGM管を組み合わせ、
1台で様々な測定用途に対応可能！

As versatile as you are

FLUKE®
Biomedical

LANDAUER®

RaySafe®

VICTOREEN

【お問い合わせ】  長瀬ランドウア株式会社 営業部

TEL: 029-839-3322 FAX: 029-836-8441
mail@nagase-landauer.co.jp
<https://www.nagase-landauer.co.jp/>



【製品情報】 フルークバイオメディカル

<https://www.flukebiomedical.com/products/radiation-measurement/radiation-safety>



スローガン

チーム医療を推進し、
国民及び世界に貢献する
診療放射線技師の育成

2025 MAR CONTENTS

目次

診療放射線技師業務標準化宣言	2
巻頭言 変化の時期	副会長 関 真一 3
会告1 2024年度城西支部研修会	城西支部委員会 4
会告2 第158回日暮里塾ワンコインセミナー	教育委員会 5
お知らせ1 2024年度第15地区研修会	第15地区委員会 6
お知らせ2 2024年度第11地区研修会	第11地区委員会 7
お知らせ3 会費納入のお願い	8
報 告 2024年度公益社団法人東京都診療放射線技師会 厚生調査委員会アンケート調査① 『医療被ばく関係法規実態調査』	厚生調査委員会 10
報 告 使用済み切手の寄付報告	厚生調査委員会 24
こ え	
・ 2024年度城北支部研修会に参加して	山口麻美 25
・ 2024年度城北支部研修会「診療放射線技師の災害医療支援活動」に参加して	岡部博之 26
・ 2024年度城北支部研修会を開催して	関谷 薫 27
・ 新春のつどいに参加して	川上 智 28
パイプライン	
・ 超音波画像研修会 第267回エコーセミナー	30
2024年4月～2025年1月期会員動向	31
2024年度第10回理事会報告	32

Column & Information

・ 東放技入会無料のお知らせ	9
・ 求人情報	31
・ 学術講演会・研修会等の開催予定	35

診療放射線技師 業務標準化宣言

いま我が国では「安心して安全な医療の提供」が国民から求められている。そして厚生医療の基本である「医療の質の向上」に向けて全ての医療職種が参加し、恒常的に活動をする必要がある。

私達が携わる放射線技術及び医用画像技術を含む診療放射線技師業務全般についても、国民から信頼される普遍的な安全技術を用いて、公開しなくてはならない。そして近年、グローバルスタンダードの潮流として、EBM (Evidence Based Medicine)、インフォームドコンセント、リスクマネジメント、医療文化の醸成、地球環境保全なども重要な社会的要求事項となっている。

公益社団法人東京都診療放射線技師会では、『国民から信頼され選ばれる医療』の一員を目指し、診療放射線技師の役割を明確にするとともに、各種業務の標準化システム構築を宣言する。

診療放射線技師業務標準化には以下の項目が含まれるものとする。

1. ペイシェントケア
2. 技術、知識の利用
3. 被ばく管理（最適化／低減）
4. 品質管理
5. 機器管理（始終業点検／保守／メンテナンス）
6. 個人情報管理（守秘／保護／保管）
7. 教育（日常教育／訓練／生涯教育）
8. リスクマネジメント
 - ～患者識別
 - ～事故防止
 - ～感染防止
 - ～災害時対応
9. 環境マネジメント（地球環境保全）
10. 評価システムの構築

公益社団法人東京都診療放射線技師会

巻頭言



変化の時期

副会長 関 真一

いよいよ3月、冬から春への移り変わりを感じられる季節です。この時期、私たち診療放射線技師は、日々の業務を通じて新たな変化の時期だと思います。年度末を控え、これまでの成果を振り返るとともに、来る新年度に向けた準備を進める時期でもあります。

診療放射線技師としての役割は、医療現場においてますます重要性を増しています。特に、最新の技術や機器が導入される中で、私たちの専門知識と技術力が患者の診断や治療に大きく寄与することを再認識する必要があります。新しい技術に対する理解を深め、常に学び変化し続ける姿勢が求められます。また、卒業の季節でもあり新たな環境に飛び込む学生たちにとって、私たち診療放射線技師がどのような役割を果たしているのかを伝えることは、次世代の育成にもつながります。経験や知識を共有し、未来の診療放射線技師たちが自信を持って成長できるようサポートしていきたいと思います。現在勤務されている方には、新たな挑戦と成長の機会を迎えて過去の成果を振り返り、未来に向けた目標を設定する絶好のタイミングです。私たちの専門性を活かし、医療現場での役割を再確認することで、さらなる飛躍を遂げることができるでしょう。

去年は、さまざまな災害や困難や変化がありましたが、それを乗り越えることで私たちは成長してきました。これまでの経験を基にさらなる専門性の向上を目指す時期です。全体で協力し合い互いに学び合うことで、より強固な医療チームを築いていきます。私たちは、患者の健康と安全を守るために、常に最新の知識と技術を身につけることが求められます。本会では、研修会や勉強会を通じて自己研鑽を続け、専門性を高めることができます。これにより技術が患者の診断や治療にどれほど貢献できるかを実感できると思いますので、お時間の許す限りご参加いただくことを希望しております。

さて、1月25日（土）には、第19回ペイシェントケア学術大会が、120名あまりの会員諸氏の参加で盛会に開催されました。あらたな試みとして演題発表方式を採用し、本会の16のすべての地区から研究発表や報告がされ、活気ある討論となりました。都民公開講座では、福島県立医科大学保健科学部准教授の五月女康作先生をお迎えして、「私が漫画『ラジエーションハウス』を作ったきっかけ～想いを社会に届けるメソッド～」の講演をしていただきました。大勢の参加者が非常に熱心に聞いており、特に若い方にこの作品がどのように生まれ、成長してきたのか、そしてこの作品を通じて伝えたかったことを参加者一同共有できたと思います。さらに、情報交換会も70名を超える会員諸氏が参加して、久しぶりに対面で再会して大いに懇親を深め盛り上がっていました。

また、2月8日（土）には、第77回臨時総会がリモート会議システムを利用して、多くの代議員の参加により開催されました。「会費に関する規程」「会費減額に関する時限規程」が議題となり活発に議論され、議題すべてを代議員の皆さまにご理解ご協力いただき滞りなく承認されました。本会は会員2,800名を超え、組織率、増加率ともに顕著に増加しております。2025、2026年度も引き続き会費が減額されることになり、一層の会員増加を期待するところです。

最後に、本会は新たな変化の時、飛躍のチャンスです。役員や会員一人ひとりが自らの役割を果たし、チームとしての本会の力を発揮することで、より良い医療を提供できると信じています。共に成長し未来に向けて変化していきましょう。

2024年度 城西支部研修会（Web開催）

テーマ「診療放射線技師として必要な検査データの判読法」 ～画像診断に必要な臨床検査データを読み解く～

講師：社会医療法人財団 聖フランシスコ会 姫路メディカルシミュレーションセンターひめマリア
エグゼクティブマネージャー 田中 宏治 氏（臨床検査技師）

造影検査の際に必ず確認する腎機能、造影検査が可能な値を各病院で設定し造影の可否を決めていると思いますが、数値の高低だけの確認で造影検査をしていませんか？

今回はそんな腎機能についてだけでなく、検査をするにあたり知っておくべき検査データの見方や、知っておきたい数値にまつわる知識を解説していただきます。

CTやMRIだけでなく透視検査やカテーテル検査などの、検査や治療をするにあたっても必ず実施する採血。ラボデータを見ることができる目を養っておくと、臨床所見と併せて疑わしい病気をイメージしながら撮影した画像を見ることができるようになります。

診療放射線技師の勉強会では、なかなか学ぶことのできない内容ではないかと思います。検査を始めたばかりの方から、ベテラン技師の方まで皆さまの参加をお待ちしております。

オンライン開催では、セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、使用するWebソフトの最新バージョンをダウンロードのうえご参加ください。

ご参加の際は必ず申込者名でご入室ください。申込者名でない場合はご退出いただく場合があります。
本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2025年3月7日（金）19時00分～20時30分（受付開始18時45分～）

開催方式：Web開催（Zoom）

定 員：100名（先着順）

受講料：無 料

申込方法：東放技ホームページ（<https://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2025年3月3日（月）

問い合わせ：城西支部委員会 E-Mail：shibu_jyousai@tart.jp

第3地区委員長（支部委員長） 布川嘉信

第9地区委員長 西郷洋子

第10地区委員長 澤田恒久

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

第158回日暮里塾ワンコインセミナー

テーマ「緊急企画 タスク・シフト/シェア～現場からの報告～」

下記の要領にて第158回日暮里塾ワンコインセミナーを開催致します。

2021年に法改正がされ、告示研修が行われております。今回は、修了者が各施設でタスク・シフト/シェアにどのように取り組んでいるか、状況報告をしていただく企画と致しました。

多くの方の参加をお待ちしております。

～ プログラム ～

15:00 「CT/MRI業務について」	同愛記念病院 岩崎正浩
「MRI/核医学業務について」	JCHO東京山手メディカルセンター 神山和明
「CT/MRI/核医学業務について」	武蔵野徳洲会病院 原 基壺
休憩	
16:15 「血管撮影業務について」	かわぐち心臓呼吸器病院 竹本直哉
「告示研修からタスク・シフト/シェア開始まで」	東京臨海病院 野口幸作
「告示研修からタスク・シフト/シェア開始まで」	順天堂大学医学部附属順天堂医院順天堂 木暮陽介
17:15 ディスカッション	

記

日 時：2025年3月15日（土）15時00分～18時00分（受付開始14時30分～）

場 所：東京医科大学病院 教育棟3階 第一講堂
〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-7-1

ア ク セ ス：東京メトロ丸ノ内線 西新宿駅（東京医大病院前）下車 2番出口またはE5番出口よりすぐ
都営大江戸線 都庁前駅下車 A7番出口より徒歩約7分

定 員：100名（先着順）

受 講 料：会員 500円、非会員 3,000円

新卒かつ新入会員*、一般ならびに学生 無料

申 込 方 法：東放技ホームページ（<https://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2025年3月14日（金）

問い合わせ：教育委員長 市川重司 E-Mail：kyoiku@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

※ 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう。

お知らせ 1

2024年度 第15地区研修会

テーマ「線量管理ソフトとは？ 基礎から解説」

講 師：株式会社ジェイマックスシステム 営業部営業推進グループ 伊達 大輔 氏
富士フイルムメディカル株式会社 営業本部IT事業推進部 中野 伸哉 氏
帝京大学医学部附属溝口病院 中央放射線部 西澤健太郎 氏

2020年4月の医療法改正により、放射線量の管理・記録が義務化されました。それに伴って、私たち診療放射線技師の業務も工夫が必要となってきています。手入力で記録される線量データは管理が複雑になり、効率的ではありません。私たちに求められていることは、いかに正確に線量を管理し、業務の負担を軽減・簡便化できるか？ また、患者さんに求められたときにしっかりと説明できるか？ の二点です。この二点を実現できる1つが「線量管理ソフト」であります。では、「線量管理ソフト」とは実際どういうものなのか、どう使用するのか、どんなメリットがあるのか… 意外と知らない線量管理ソフトの全てを今回はご紹介致します。ぜひ、奮ってご参加ください。

記

日 時：2025年3月3日（月）19時00分～20時30分（受付開18時30分～）

場 所：高津市民館 視聴覚室
〒213-0001 神奈川県川崎市高津区溝口1-4-1

ア ク セ ス：JR南武線 武蔵溝ノ口駅北口より 徒歩2分
東急田園都市線 溝の口駅東口より 徒歩2分

定 員：50名（先着順）

受 講 料：診療放射線技師 500円
新卒かつ新入会員*、一般ならびに学生 無料

申 込 方 法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2025年3月2日（日）

問い合わせ：第15地区委員長 宮下（池田）麻依 E-Mail：areal5@tart.jp
公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

※ 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう。

2024年度 第11地区研修会（Web開催） テーマ「タスク・シフト/シェアと診療放射線技師の需給予測」

講 師：東京医療保健大学 東が丘看護学部 教授 小野 孝二 先生

2024年の厚生労働省の発表する有効求人倍率（季節調整値）によると、10月は1.25倍、2ヶ月連続で前の月を上回ったようです。採用時の最低時給も前年より上昇したとの報道もありました。

われわれ診療放射線技師の分野においてはいかがでしょう。「診療放射線技師法改正」により業務範囲が拡大され、求人も増えるようにも期待されるところです。

今回のテーマは、診療放射線技師の未来を考える「タスク・シフト/シェアと診療放射線技師の需給予測」を企画させていただきました。若い世代の方から、役職者の方まで、多くの方々のご参加をお待ちしています。

オンライン開催では、セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、使用するWebソフトの最新バージョンをダウンロードのうえご参加ください。

ご参加の際は必ず申込者名でご入室ください。申込者名でない場合はご退出いただく場合があります。
本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2025年3月14日（金）18時30分～20時00分

開催方式：Web開催（Zoom）

定 員：100名（先着順）

受講料：無 料

申込方法：東放技ホームページ（<https://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2025年3月10日（月）

問い合わせ：第11地区委員長 名古安伸 E-Mail：areall@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

お知らせ 3

会費納入のお願い

会員の皆さまには、平素より公益社団法人東京都診療放射線技師会の活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。本会は皆さまの会費によって運営されております、スムーズな会務運営のためご協力いただきますようお願い致します。

さて、会費納入期限は、9月30日となっております。お忘れの方は、お手元の払込用紙をご利用の上、早期に納入していただきますようお願い致します。

なお、会費未納期間2年以上の会員については、退会の手続きを致しておりますのでご注意ください。ご不明な点は事務所までお問い合わせください。

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

技師会入るなら今がチャンス！

令和5,6年度に限り

新入会（新卒、既卒を問わず）無料キャンペーン



東京都診療放射線技師会
新卒・既卒問わず会費
5,000円



0円

必要となる技師会費は

日本診療放射線技師会(JART) + 東京都診療放射線技師会(TART)

お得！

たとえば、技師免許取得年度に入会する者
JART（初年度会費5,000円+ **入会費無料**）

+ TART（~~5,000円~~） 今だけ0円 = 5,000円

JART年会費 5,000円のみでOK！

まだまだお得な情報が沢山！詳細はこちら→



HPへGo!



公益社団法人 東京都診療放射線技師会

2024年度 公益社団法人東京都診療放射線技師会 厚生調査委員会アンケート調査①

『医療被ばく関係法規実態調査』

多くの施設のご協力をいただき実施した2024年度アンケート調査①の集計結果をご報告致します。

調 査 期 間：2024年11月1日～2024年11月30日

回 答 方 法：Webブラウザを利用した入力方式

調 査 対 象：東京都診療放射線技師会員が所属する医療施設

調査対象施設数：471

有効回答数：143

回 答 率：30.4%

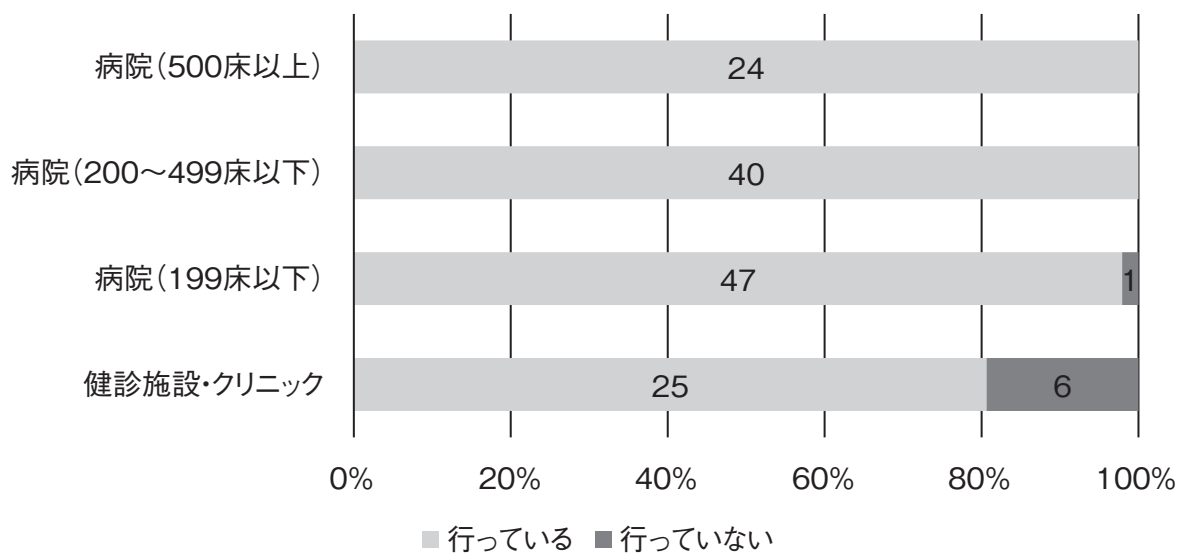
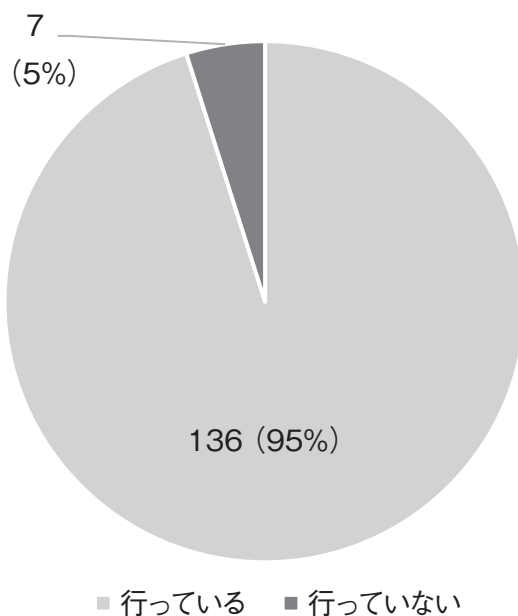
・回答して頂いた施設の内訳

施設形態	施設数
病院（500床以上）	24
病院（200～499床以下）	40
病院（199床以下）	48
健診施設・クリニック	31

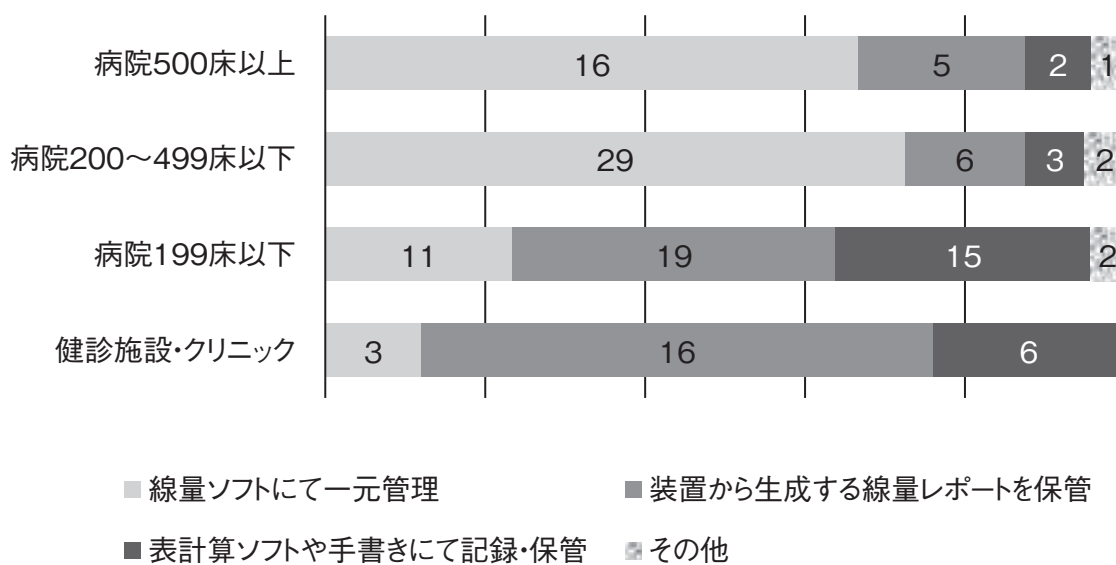
Q1

医療法施行規則の一部改正について

Q1-1、線量管理の記録・保管は行っていますか？ (n=143)

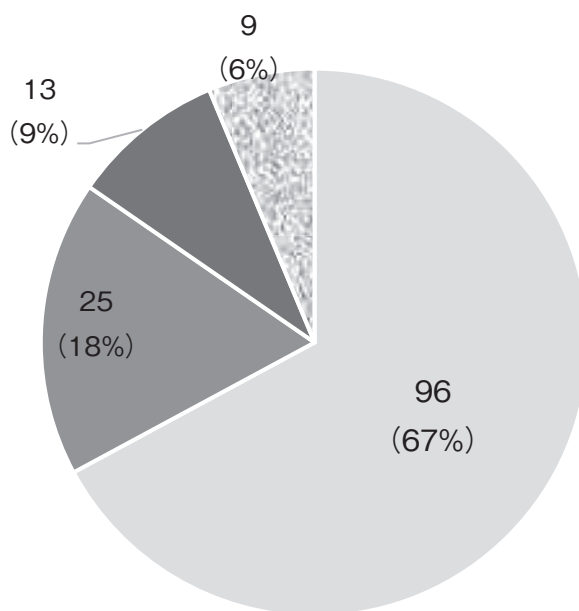


Q1-2、線量管理の記録・保存方法は何でしょうか？ (n=136)

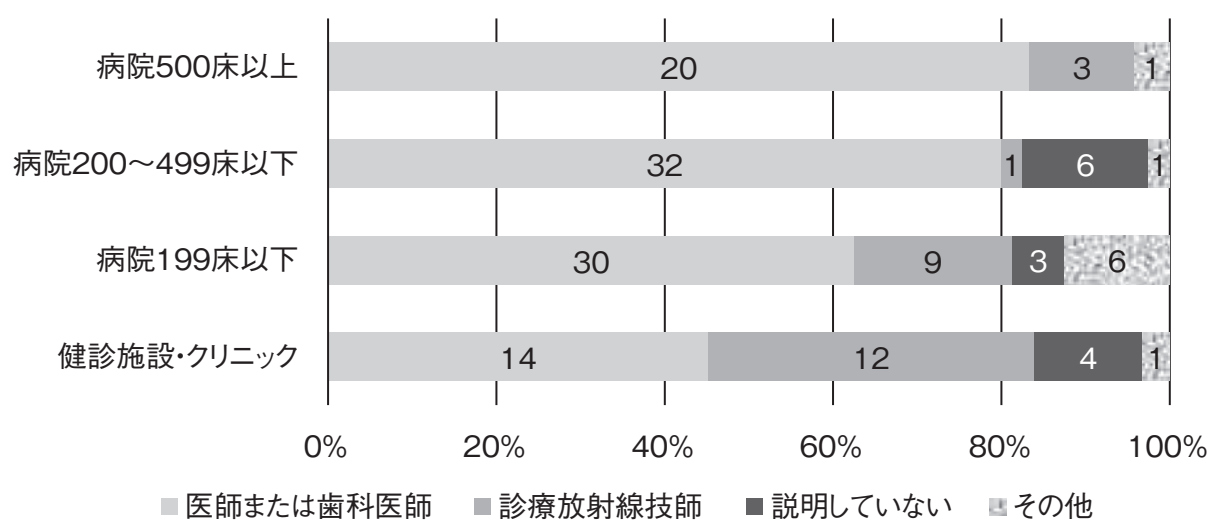


その他 ・照射録へ記載 ・RISへ記載 ・線量ソフトと表計算ソフト ・RIのみ手書き保管

Q1-3、医療被ばくの説明はどなたが行っていますか？ (n=143)



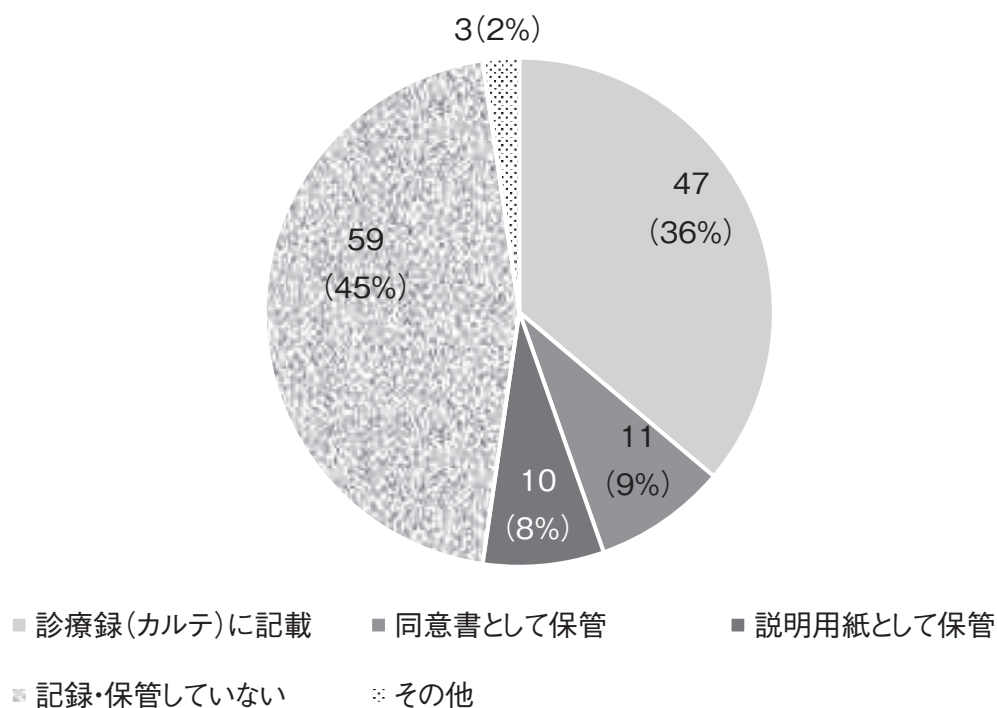
■ 医師または歯科医師 ■ 診療放射線技師 ■ 説明していない ■ その他

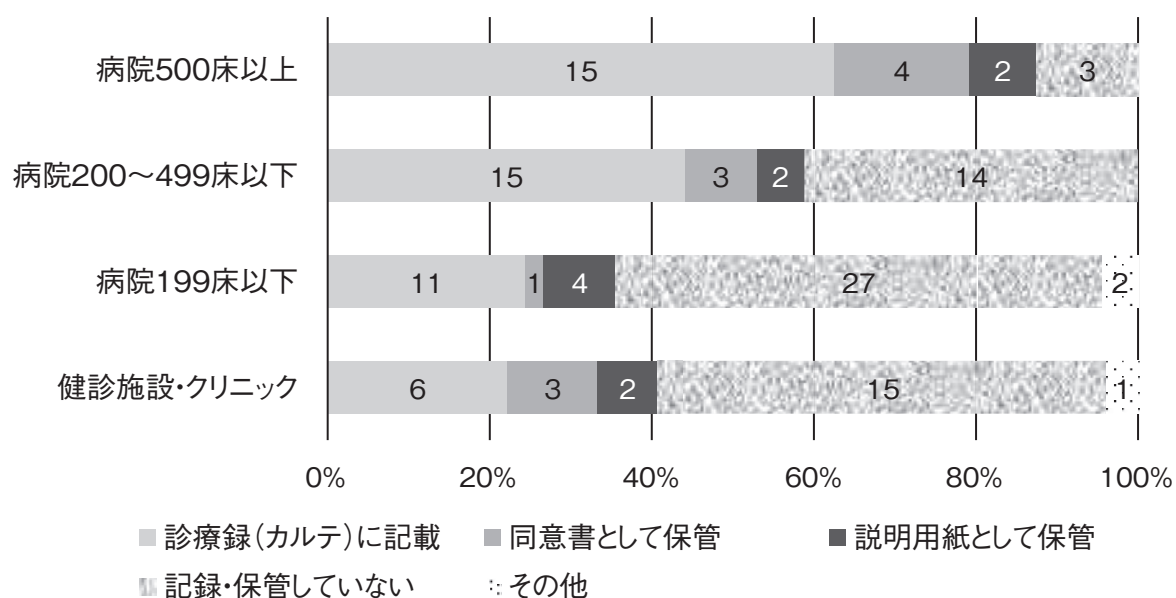


その他 ・看護師 ・説明を求められた医師または診療放射線技師 ・動画等 ・モダリティによる ・IVRのみ医師

Q1-4、医療被ばくについて説明した記録はどのように保管していますか？

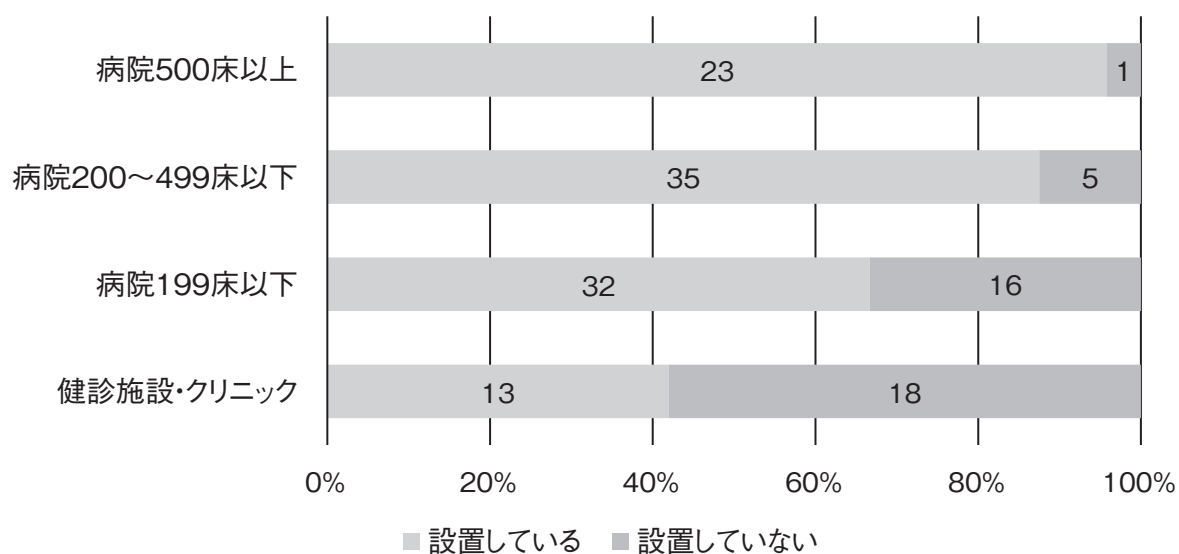
(医療被ばくについて説明しているのみ回答 n=130)





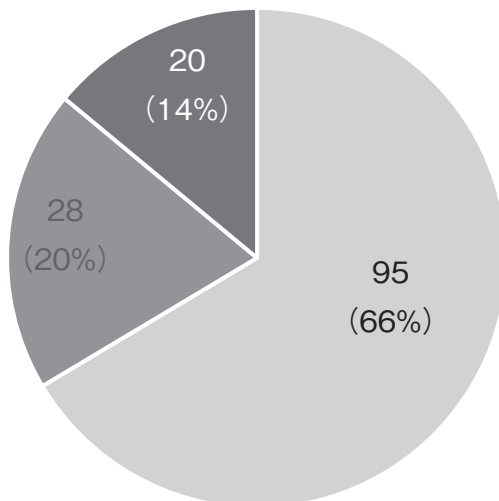
その他 ・相談の事例無し ・放射線科に講習の出席者とテスト結果のリストの保存

Q1-5、放射線被ばく管理に関する委員会は設置されていますか？ (n=143)

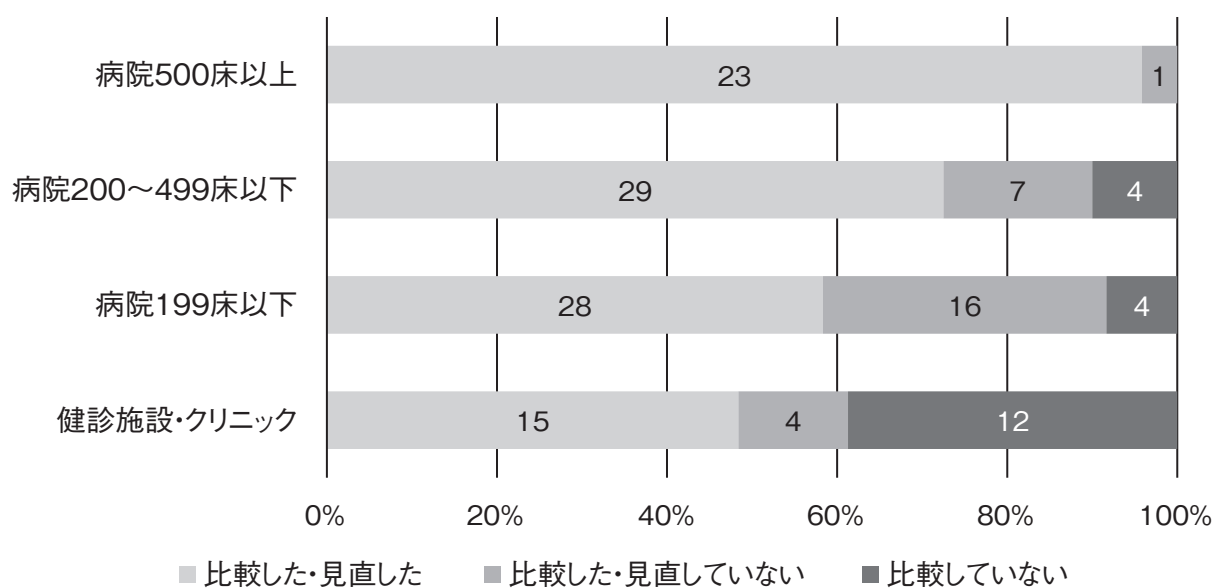


Q2 診断参考レベル2020について

Q2-1、診断参考レベル2020を基に各種モダリティの被ばく線量を比較・見直しましたか？ (n=143)

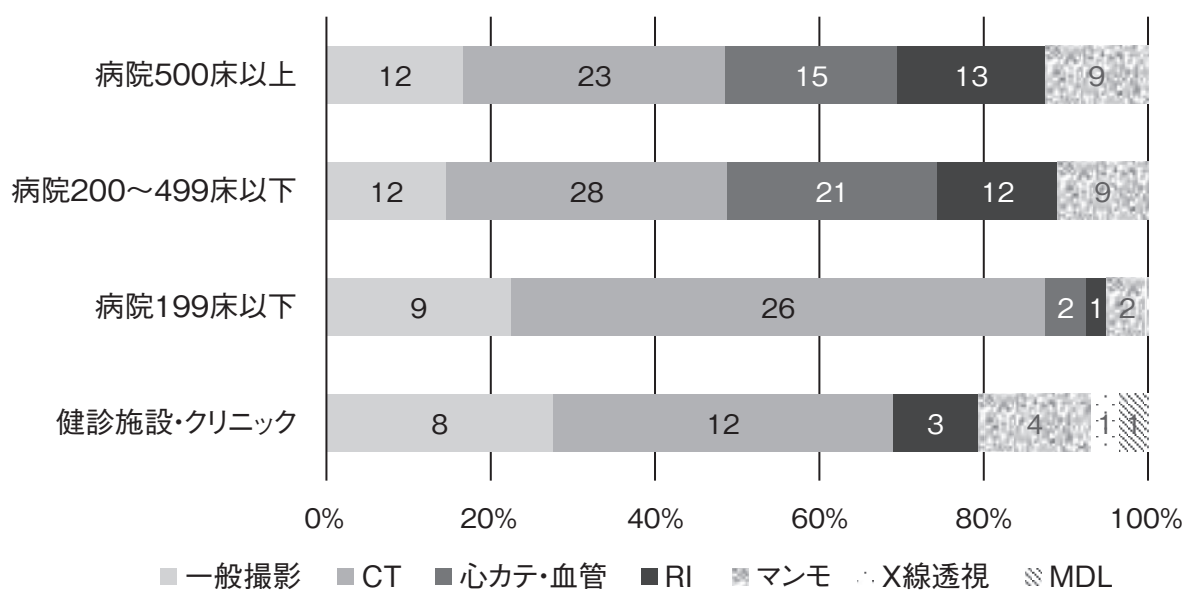


■ 比較した・見直した ■ 比較した・見直していない ■ 比較していない

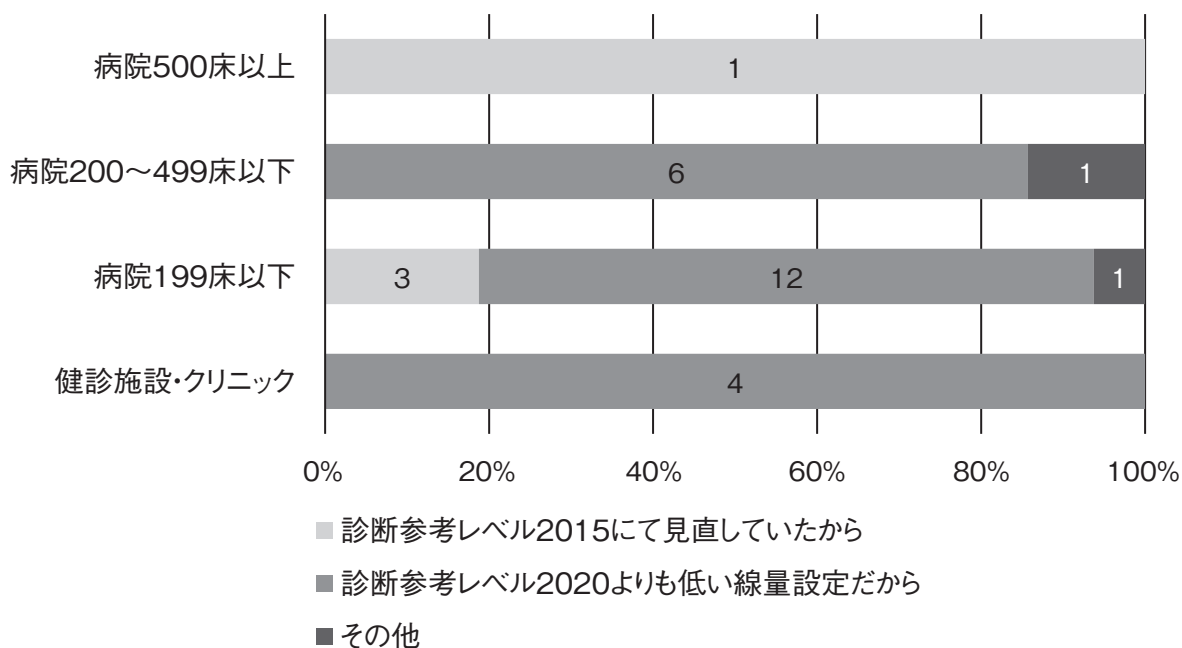


■ 比較した・見直した ■ 比較した・見直していない ■ 比較していない

Q2-2、見直した検査種を伺います。（比較・見直したのみ回答 n=95）複数回答可

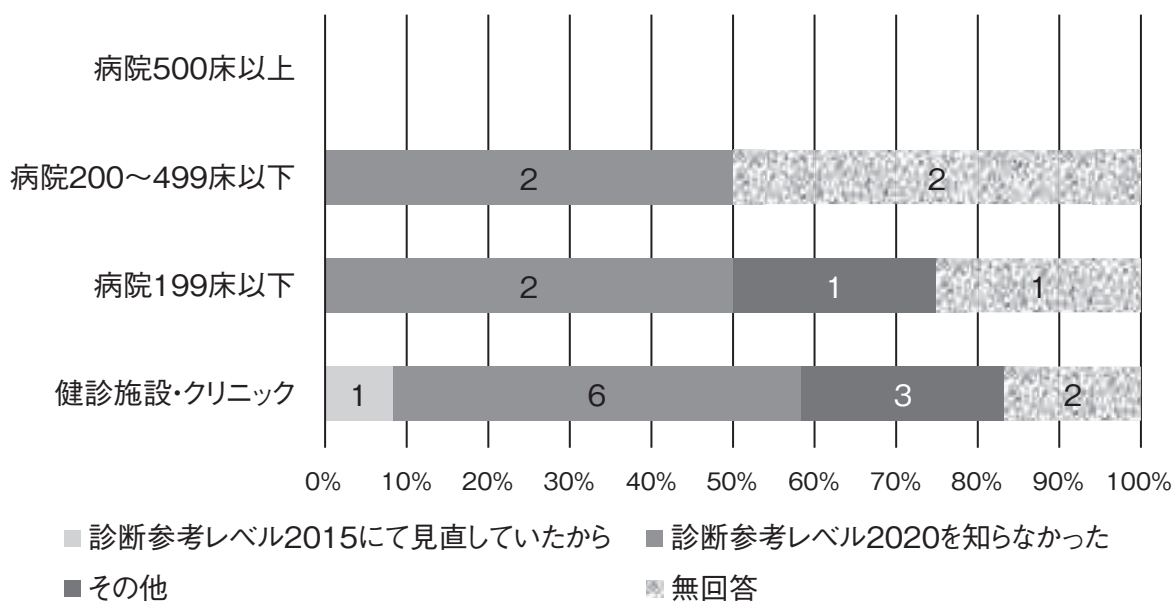


Q2-3、見直していない理由を伺います。（比較・見直していないのみ回答 n=28）



その他 ・取り組むつもりだが進まない ・医師と協議した

Q2-4、比較していない理由を伺います。（比較していないのみ回答 n=20）

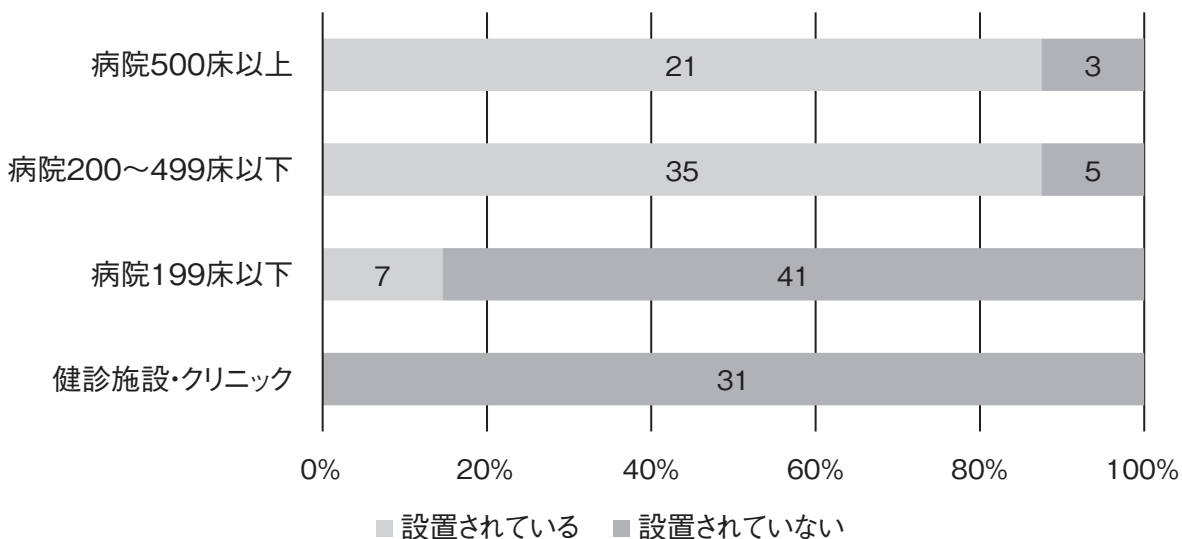


その他 ・時間がなかった ・高線量の装置がない ・期限に間に合わない 間に合わなかった

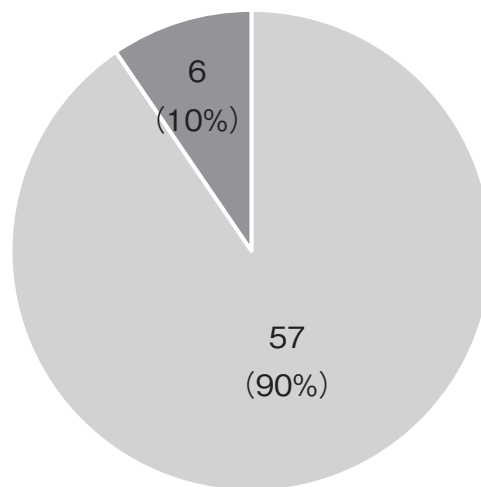
Q3

IVRに伴う放射線皮膚障害の防止に関するガイドライン

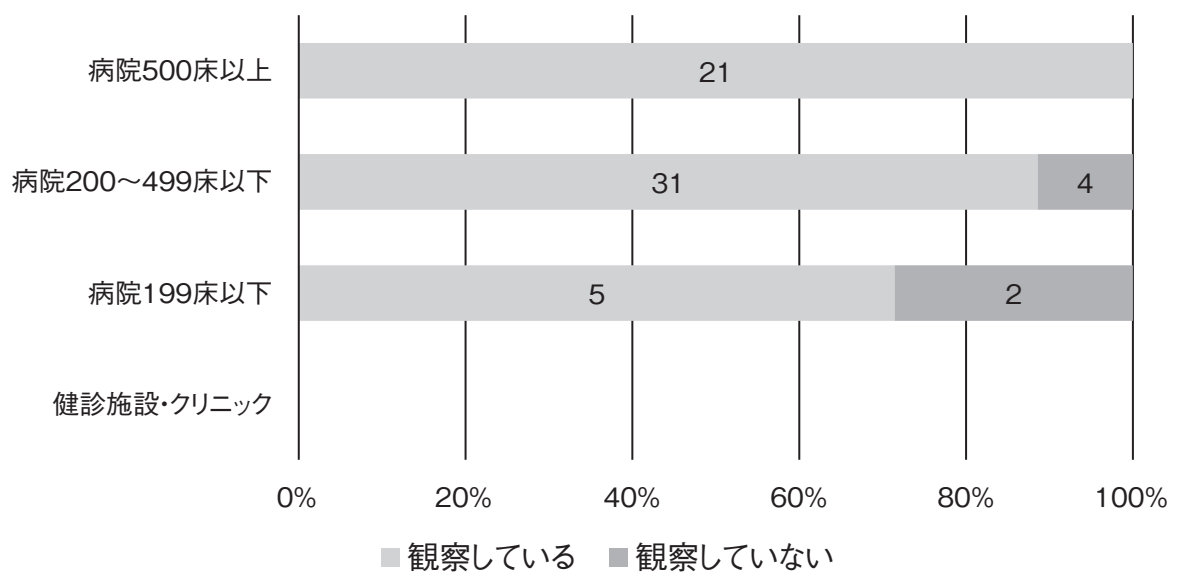
Q3-1、血管撮影装置は設置されていますか？（n=143）



Q3-2、高線量医療被ばくによる皮膚の観察はされていますか？（血管撮影装置設置ありのみ回答 n=63）

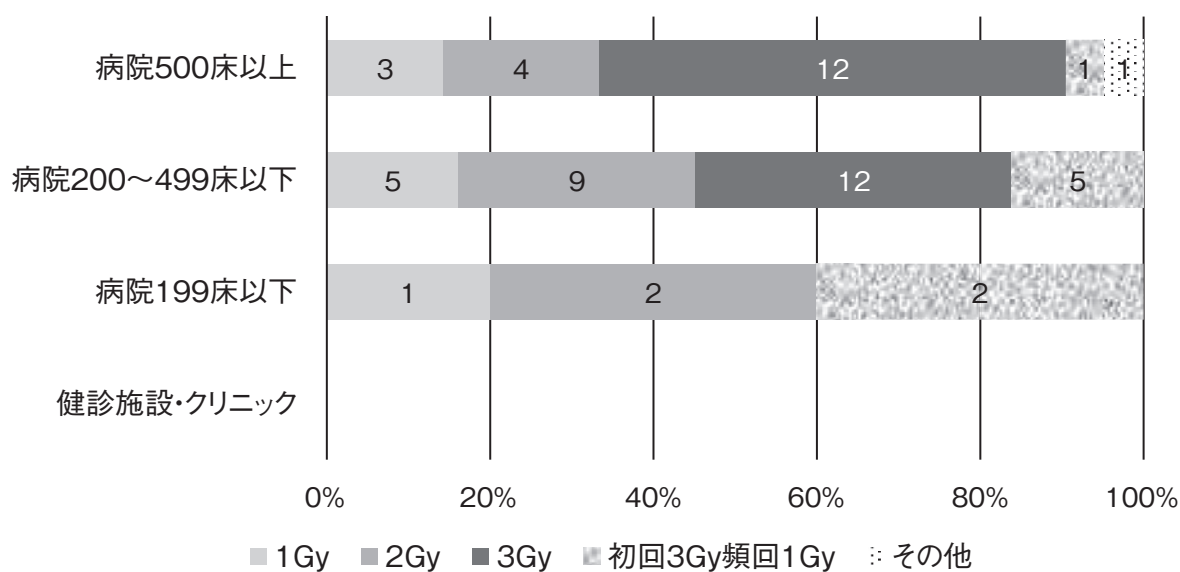


■ 観察している ■ 観察していない



■ 観察している ■ 観察していない

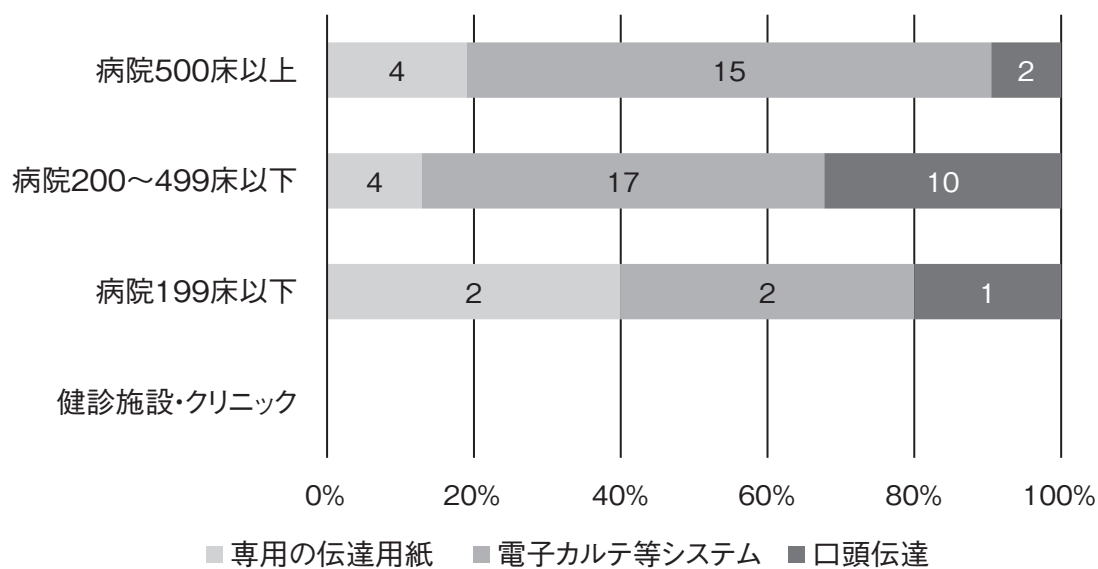
Q3-3、皮膚観察の対象となる基準線量を教えてください。(高線量被ばくによる皮膚観察をしているのみ回答 n=57)



その他 ・初回 2Gy 頻回 1Gy

Q3-4、皮膚観察の対象であった場合の医師や看護師への伝達方法を教えてください。

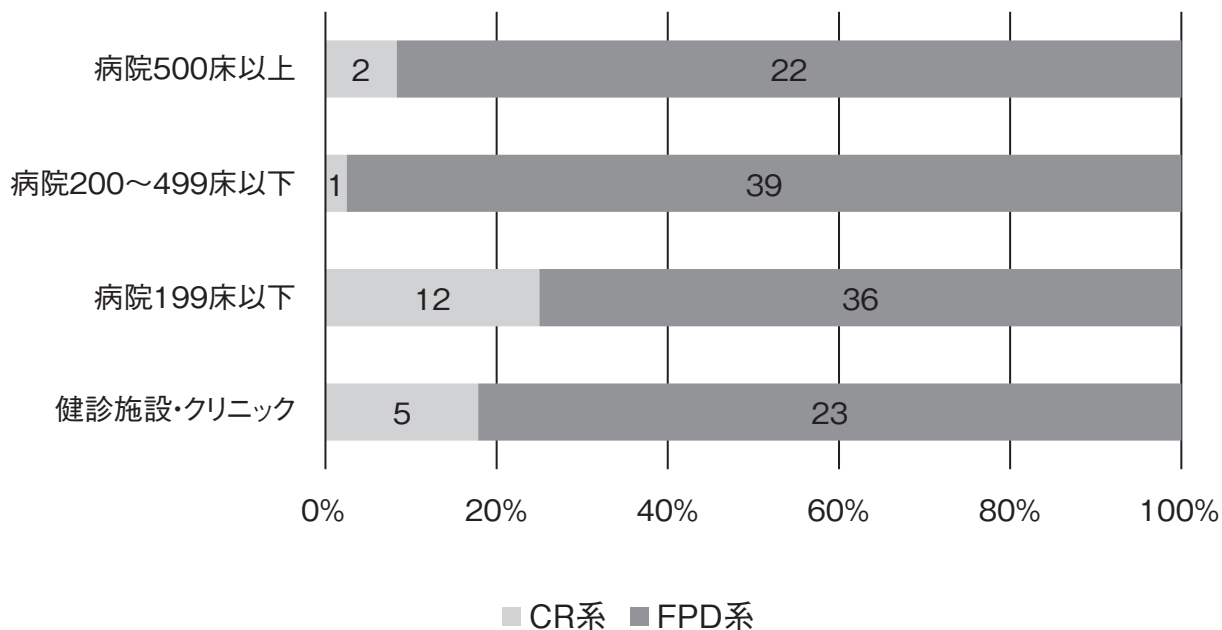
(高線量被ばくによる皮膚観察をしているのみ回答 n=57)



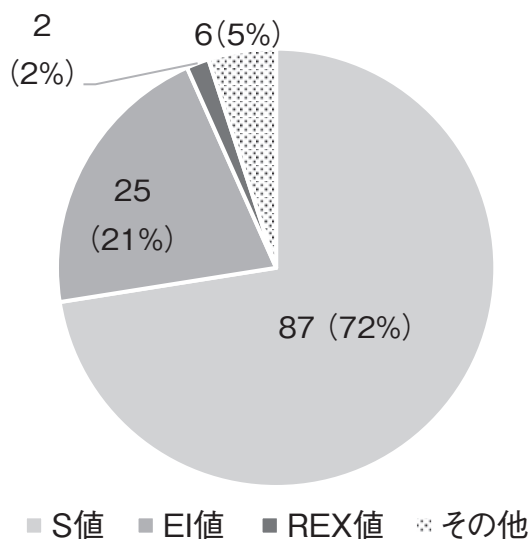
Q4

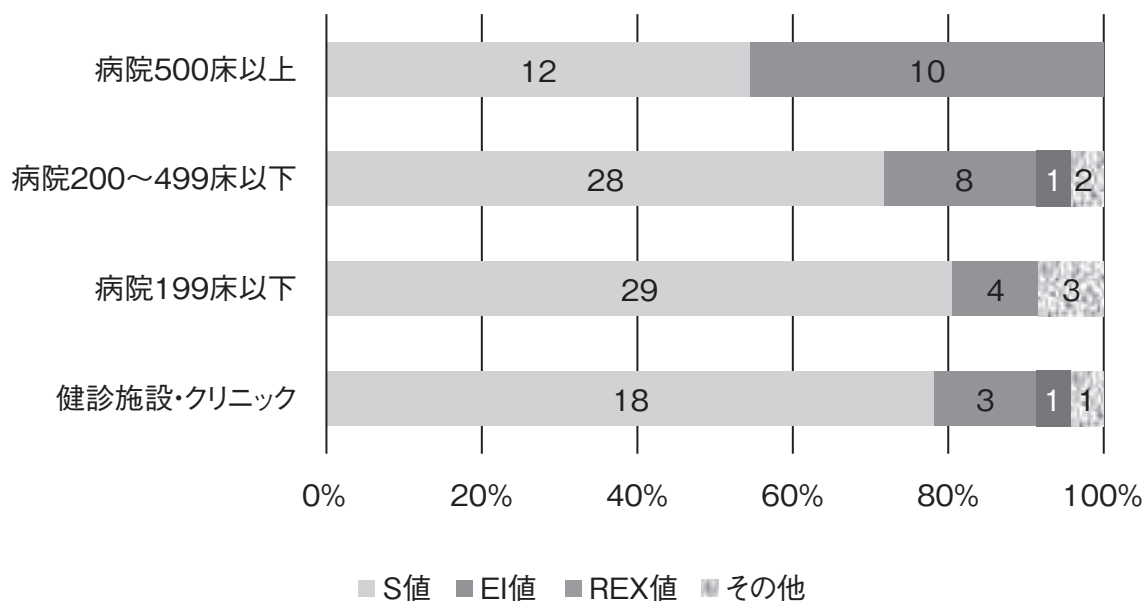
医療被ばく関連スポット調査（一般撮影系線量指標）

Q4-1、一般撮影システムについて伺います。（n=140）



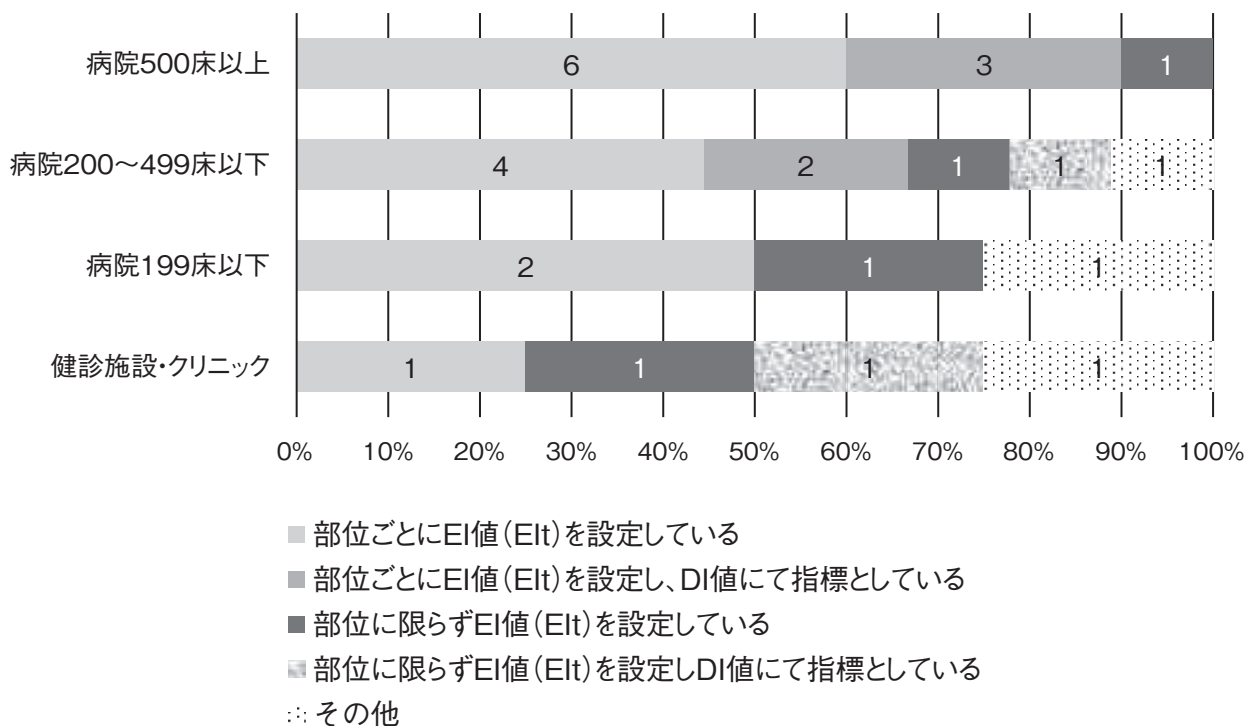
Q4-2、撮影線量が画像に対し適正線量であるか、線量指標をうかがいます。（一般撮影がFPD系のみ回答 n=120）





その他 ・ していない ・ NDD ・ DRL2020

Q4-3、具体的なEI値の線量管理について伺います。（線量指標がEI値、REX値のみ回答 n=27）



その他 ・ 指標にはしているがEItを設定していない ・ REX値を指標としている

Q5、本調査に関するご意見または東京都診療放射線技師会に対するご意見をご自由にお書きください。

- ・“放射線の安全利用”の講習開催の義務についてですが、当院では学研の e-ラーニングを利用していますが、先日都の監査で“その講習は医師の監督を受けたのか？”と指摘がありました。その後の対応として、医師対象の同テーマの講習が参照できるサイトも紹介しましたが、日本の技師会としてスタンダードな方法の用意をして頂く事は可能でしょうか？
- ・医療被ばくについて説明した記録とは、例としてどのように行うべきか教えてほしいです。
- ・一般撮影は、都立大学の先生をアドバイザーに装置の線量測定管理を行っています。
- ・高齢者に被ばくしたことによる利益不利益の説明も大事ですが、そもそも単位や閾値等を短時間で説明するのは無理なことだと感じます。国が言う説明はどこまでが必要なのかを明確にしていきたい。
- ・精神科単科のため検査数も少なく、被ばくに関する意識も低いようです。
- ・線量管理システムは導入しているが、本格的な運用に至っていない。
- ・他施設の状況が把握できるので、調査結果を参考にしたいと思います。

調査分析・考察

Q1、医療法施行規則の一部改正について

本調査の136（95％）が線量管理を行っていると回答した。線量管理を行っていない施設7（5％）は健診施設・クリニックが多数であった。医療被ばくの説明については、医師または歯科医師と回答した施設が96（67％）次いで診療放射線技師25（18％）、説明していないが13（9％）であった。また、説明した記録については、記録・保管していないと回答した施設が59（45％）で次いで診療録に記載が47（36％）、同意書として保管が11（9％）、説明用紙として保管が10（8％）であった。

日本医学放射線学会が発行している「診療用放射線に係る安全管理体制に関するガイドライン」によると、「放射線の線量管理及び線量記録が定められているのはCT検査、血管造影及び核医学診療であるが、診療用放射線の安全管理の対象には放射線診療全般が含まれる。」とあり、健診施設・クリニックにおいて上記検査種を有さない施設は線量管理を行っていないと考える。また同ガイドラインにおいて「CT検査、血管造影、核医学診療については、当該放射線診療の依頼医は放射線診療実施前の説明と同意に関する事項を診療録等に記録すること。救命等のためにやむを得ず十分な実施前の説明ができない場合は、その旨を記録すること。」とあるが、本調査の45（％）の施設が記録・保管していないと回答した。ガイドラインに対応する方法として診療録への記載が困難な施設においては、CT検査等の依頼時に発行される検査説明書・同意書・予約票などにその旨の記載を行い、文書をスキャンすることや発行履歴を残すことで対応する検討も必要であると考ええる。

Q2、診断参考レベル2020について

本調査の95（66％）が比較した・見直したと回答した。次いで比較した・見直していないが28（20％）、比較していないが20（14％）であった。見直した検査種別でみるとCT検査が最多で89施設、次いで一般

撮影（41施設）、血管・心カテ（38施設）、RI（29施設）、マンモ（24施設）の順となった。見直していない理由をみると、診断参考レベル2020よりの低い線量設定が22施設と最多であった。比較していない理由では、診断参考レベル2020を知らなかったが10施設と最多であった。

診断参考レベルの意義は「DRLは最適化のプロセスを推進するためのツールであり、DRLを活用すると、他施設より高い線量を用いている施設はそれに気付くことができる。」とある。診断参考レベルを活用したことのない施設にあっては、この機会に参考として検討してみても如何であろうか。また、2025年にDRL改定版の発行が予想され各施設においては引き続き注視が必要であると考ええる。

Q3、IVRに伴う放射線皮膚障害の防止に関するガイドライン

血管装置を設置している施設において、高線量医療被ばくによる皮膚観察を行っていると回答した施設は57（90％）観察していないは6（10％）であった。皮膚観察の対象となる基準線量の間では、3Gyが最多で24施設、次いで2Gyが15施設、1Gyが9施設、初回3Gy頻回症例1Gyが8施設、初回2Gy頻回症例1Gyの順となった。

当ガイドラインにおいて「皮膚観察の管理目標値は施設によって定める（例として初回3Gy、頻回症例1Gy）」とある。本調査では、頻回症例を含めない施設が多数であった（48/57）。頻回症例を管理目標値に含めるか否かは施設によって考え方が異なるが、ポイントは頻回症例の情報共有の可否であると考ええる。また、血管撮影と心カテのように検査種を跨ぐような症例においての情報共有方法など追加調査が必要と考える。

Q4、医療被ばく関連スポット調査（一般撮影系線量指標）

一般撮影がFPD系（n=120）施設における線量指標はS値が最多で87施設（72％）、次いでEI値/REX値が27施設（23％）となった。

2008年に国際電気標準会議（以下IEC）より、Exposure Index（以下EI）が提唱された。本調査の結果から、臨床でのEI値の普及浸透には時間がかかっていることが明らかになった。これには、EI値やDI値を装置に表示するというメーカーの協力も必要不可欠である。また、EI値は特定線質における値であり、装置に表示されるEI値は推定値であることを認識するとともに、目標EI値を基準としたDI値の採用も検討していくことが必要であると考ええる。

謝辞

この度の調査にご理解を頂き、多大なるご協力ご支援を頂きました各施設の管理者様及び担当者様に厚く御礼申し上げます。これからも厚生調査委員会の活動にご理解ご指導頂きますよう重ねてお願い申し上げます。

使用済み切手の寄付報告

～使用済み切手を集めてくださった皆さまへ～

厚生調査委員会

東京都診療放射線技師会（TART）では、社会貢献活動として使用済み切手を集めています。このたびは、多くの会員の皆さまに、この活動にご協力いただき心より感謝申し上げます。使用済み切手を集めることは、一見すると小さな行動かもしれませんが、その背後には大きな意味と影響があります。会員の皆さまのご支援があってこそ、この活動は成り立っています。

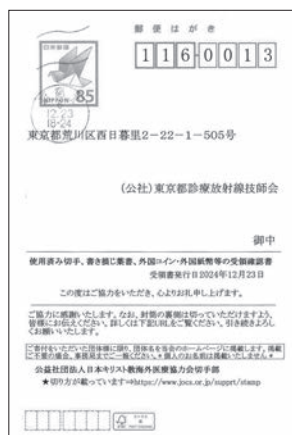
使用済み切手は、単なる郵便物の一部ではなく、私たちの社会におけるさまざまなストーリーや思い出を秘めています。切手には、国や地域の文化、歴史、そして人々の生活が反映されています。集められた切手は、私たちの活動を通じて新たな価値を生み出し、必要とされる方々への支援につながります。

TARTでは、集めた切手を昨年12月に日本キリスト教海外医療協力会（JOCS）に送っています。この団体では、集めた使用済み切手をリサイクルし、その収益をさまざまな社会貢献活動に活用しています。具体的には、教育支援や福祉活動、環境保護など、多岐にわたるプロジェクトに資金を提供しています。会員の皆さまが集めてくださった切手は、これらの活動を支える重要な資源となります。

JOCSは、1964年に日本では初めて使用済み切手による国際保健医療協力活動を始めました。現在も全国から寄せられる使用済み切手や書き損じハガキ、外国コイン、古本などをアジアやアフリカの保健医療協力のため役立てています。5,000枚の使用済み切手を換金すると約1,800円になり、これは例えば、タンザニアで看護学生ひとりの1年分の教科書代になります。JOCSの使用済み切手運動は、多くの個人切手収集家に換金をお願いしているため、業者による買い取りよりも高額となり、ご寄付いただいた切手の価値も相対的に高くなります。

また、使用済み切手を集めることは、環境保護の観点からも意義があります。リサイクルを通じて廃棄物を減らし資源を有効活用することができます。この活動に参加することで、環境への配慮を示し、持続可能な社会の実現に向けた一歩を踏み出すことができます。

会員の皆さまのご協力により、これまで多くの方々に支援を届けることができました。教育を受ける機会が限られている子どもたちへの奨学金の提供や、地域の福祉施設への寄付など、さまざまな形で社会に貢献しています。今後ともご理解ご協力よろしくお願いいたします。



2024年度 城北支部研修会に参加して

東京科学大学病院 山口麻美

2024年11月22日（金）に開催された城北支部研修会「診療放射線技師の災害医療支援活動 令和6年能登半島地震 トルコ・シリア地震」に参加させていただきました。

日本医科大学付属病院の平井国雄先生のご講演では、JDR国際緊急援助隊医療チームの医療調整員としての活動報告を、沢山の写真とともにお話し下さいました。現地活動での風景、テント内の様子、X線撮影の様子、食事内容、トイレの小話、どれも実際に活動された方にしか解らない事で、診療放射線技師としてX線撮影を海外の災害現場で行うことに、大変興味深く聞き入ってしまいましたが、X線の設置や、画像表示はiPad4台での運用の為、診察室へ持参すると次の検査時に残った台数でやりくりするしかない等、さらに海外ですのでその国の言語が解らない為通訳も必要ですし、宗教上の理由から男性と女性が二人きりになってはならない等、写真には写らない沢山の条件や苦労があることに気づかされました。

次に能登半島地震でのJMAT日本医師会医療支援チームで業務調整員としての中長期的な活動報告でした。こちらも現場の写真や動画でご説明下さいました。地方では独特の方言もありますので方言の理解や、ご高齢の認知症の方々への対策等、業務調整員として活動する事の大変さを教えていただきました。

友人から聞いたのですが、平井先生は次の休日も国際緊急援助隊新規隊員の養成研修へ参加されたと

の事です。災害医療に関わるには、自身の休みを返上し、研修や訓練へ参加し技能を維持しなければならないそうです。災害医療に関わる診療放射線技師さんを応援したい気持ちでいっぱいになりました。自施設にも、日本DMATや東京DMATの資格を持つ技師がおりますが、実際に今回の様に写真を見たり訓練の様子を聞いたりする事はなかったので、もっと積極的に話を聞いてみたいと思います。

最後に、このような貴重な機会を設けていただきました関係者の皆さまに心から感謝申し上げます。



こ え

2024年度 城北支部研修会 「診療放射線技師の災害医療支援活動」に参加して

高島平中央総合病院 岡部博之

令和6年能登半島地震およびトルコ・シリア震災により、お亡くなりになりました方々のご冥福をお祈りすると共に被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

このたび、日本医科大学付属病院 平井国雄先生から2023年2月に発生したトルコ・シリア震災および2024年1月に発生した令和6年能登半島地震における災害医療支援活動の報告を拝聴する機会に恵まれました。平井先生ならびに城北支部委員の皆さまに改めてお礼申し上げます。

災害支援活動と聞くと瓦礫の中から人命を救助する地元の消防団や自衛隊の方々をイメージします。また、難を逃れた方々の生活支援などが頭に浮かびます。そこで診療放射線技師の災害医療支援活動とは…？と興味が浮かび、より明瞭に拝聴できるように会場参加を選択しました。

先生のお話は、トルコ・シリア震災での活動報告から始まり能登半島地震での活動を詳細に語っていただきました。医療支援チームの内訳は医師・看護師・業務調査員に分かれる様です。私たち診療放射線技師の担当は業務調査員として支援活動を行う様ですが、撮影業務は支援の一部に過ぎず、情報整理および収集・記録・発信などなど多岐に亘る様です。支援者の資質として“ロジの3k”というものがあるようです。ロジとはロジスティクス（後方支援）の略で「機転・機敏・気配り」との事でした。少人数で

のチーム活動になる訳ですからごもっともと領けました。先生のコメントでは“やれる仕事を積極的に行う”です。職場においても“ロジの3k”の重要性は身に染みて分かっているつもりですが、自分自身への戒めの言葉を頂いたような気がしました。大変な環境にて震災に合われた方々の支援を行う、頭の下がる思いでお話を聞かせていただきました。それと、非常に残念なエピソードも聞かせていただきました。ブルーシート詐欺はご存知でしょうか？能登半島地震で実際に起きていた事件です。半壊した家屋にブルーシートを養生テープで養生しただけで多額の金額を請求した悪質商法があったようです。ボランティアにて支援活動を行っていただいている方々がいる反面、このような方法でお金を稼ごうとしている人たちがいた事にとっても残念な気持ちになりました。

東京にも近年に大きな地震が来ると云われています。その時には平井先生のような方々に救いの手を差し伸べて頂かなければならない時が来るかもしれません。現地活動は無理かもしれませんが、応援は行っていきたいと思いました。もし、現地にて活動したいといった方がおりましたら、JMAT（日本医師会災害医療チーム）やJDR（国際緊急援助隊）といった道筋はあるようです。災害支援について改めて考える機会になりました。有難うございました。

2024年度 城北支部研修会を開催して

三郷中央総合病院 関谷 薫

「診療放射線技師の災害医療支援活動 令和6年能登半島地震 トルコ・シリア地震」をご講演いただいた日本医科大学付属病院の平井国雄先生、準備をしていただいた城北支部の地区委員の皆さまに、多大なるご尽力を賜り感謝を申し上げます。

災害に遭っている異国の地で、言葉や文化の異なる被検者を撮影することの難しさを学ぶことができました。また、異国の地では、安心安全な日本とは異なり、安眠することの難しさ、生活様式の違いや、食事が異なるなど、このような状況で支援活動を行っていたこと、写真を拝見しながら学ぶこともできました。

能登半島の地震では、避難所において、報道では伝えることのないかわいそうな場面に遭遇したこと、研修会の準備にてお聞きしました。限られた講義時間の中で、平井先生よりご教示いただいたことが、ほんのわずかであることが理解できました。

研修会開催後の情報交換会にて、「いつでも行けるようにしなくてはならないのに、パスポートの有

効期限を切らしてしまっただけで怒られちゃった」なんて、お話してくださり、こんな平井先生だからこそ、このようなすばらしい活動ができるお方なのでは、と確信しました。

今後の平井先生の益々のご活躍をお祈りするとともに、城北支部研修会では、今後もこのような研修会を開催していきますのでよろしくお願い致します。



こ え

新春のつどいに参加して

順天堂大学医学部附属順天堂医院 川上 智

1月10日に開催された東京都診療放射線技師会2025年新春のつどいに参加させていただきました。

はじめに江田会長やご来賓の方から東京都診療放射線技師会の取り組みや今後の活動、これからの診療放射線技師の在り方などについてお話を拝聴し、新年も日々の業務と自己研鑽に真摯に取り組み、自身の技術向上とキャリアアップによって多くの人に求められる診療放射線技師になれるよう努めていきたいと改めて決意しました。

その後、ご来賓の方や役員の方、様々な病院で勤務されている診療放射線技師の方と名刺の交換や、お話をさせていただきました。ご来賓の方には若い世代の診療放射線技師がどうあるべきなのか、これからの社会や生活がどのように変わっていくのかなど将来に向けたお話をしていただき、意見交換もさせていただきました。また、東京都診療放射線技師会役員の方やほかの病院に勤められている経験豊富な診療放射線技師の諸先輩方からは、これからのキャリアアップのために取り組むべきことやそれぞれの病院の現状、今後開催される勉強会などについ

ても聞かせていただき、これからの目標を立てていく上で、貴重なお話を伺うことができました。そして同世代の技師の方が取り組んでいる業務に関するについても情報交換させていただき、大変有意義な時間となりました。

2時間弱というとても短い時間ではありましたが、たくさんの方と交流させていただき、自身の成長につながったと感じています。

昨年は学術委員会主催のフレッシューズセミナーに参加させていただき、日常業務の基礎を学ばせていただきました。2025年も東京都診療放射線技師会の様々な勉強会やイベントに参加させていただき、診療放射線技師として成長していきたいと思います。

最後になりましたが、新春のつどいを企画・運営してくださった東京都診療放射線技師会の皆様、お話をいただいたご来賓の方々、参加者の方々に深く感謝申し上げます。



開会の辞：江田会長



表彰者へのご祝辞：中澤顧問



ご祝辞：畦元 元衆議院議員



瑞宝双光章受章：篠原顧問



乾杯：白木監事



東京都功労者表彰受賞：石田元副会長



超音波画像研究会

第267回 エコーセミナー

これまで肝臓・胆のう・胆道・膵臓・腎臓・尿路系と主要な腹部領域の「検査のツボ」と称してエコーセミナーを開催してきました。今回はその総括としてdetect、discriminate、impressionについて検討し、カテゴリー分類をどのように導いくのかを片山先生にご講演いただきます。

日 時：2025年3月28日（金）19時00分～20時30分（18時30分より受付）

会 場：エムティ・エンド・エムティビー株式会社

（東京都新宿区西早稲田2-20-15 高田馬場アクセス12Fセミナールーム）

テ ー マ：『腹部超音波検査 ～カテゴリー分類に困った症例～』

講 師：九段坂病院 片山 和弥 先生

参 加 費：1,000円／学生無料

お問い合わせ先：超音波画像研究会事務局 E-mail【us.image.workshop@gmail.com】

超音波画像研究会ホームページ：<http://us-image.kenkyuukai.jp/information/>

超音波画像研究会の開催情報をLINEでお知らせしています。

超音波画像研究会公式LINE登録QRコード



会員動向

2024年4月～2025年1月期

年 月	月末会員数	新 入	転 入	転 出	退 会
2023年度末集計	2,561	245	39	28	143
2024年 4月	2,594	27	14	5	3
2024年 5月	2,641	49	2	3	1
2024年 6月	2,674	34	0	1	0
2024年 7月	2,712	41	2	1	4
2024年 8月	2,746	39	0	2	3
2024年 9月	2,768	28	1	0	7
2024年10月	2,789	24	3	1	5
2024年11月	2,792	8	1	0	6
2024年12月	2,802	12	5	2	5
2025年 1月	2,793	9	3	7	14

医療スタッフ随時募集中!!

診療放射線技師・看護師・保健師・臨床検査技師・薬剤師・歯科衛生士・管理栄養士

当社は、これまで数多くの病院・医療機関より要請を承っております。
勤務の内容や時間帯、単発的なアルバイトや転職など、皆さまのご希望にあわせて
お仕事をご紹介致します。
医療スタッフは、随時募集しております。ご友人、お知り合いの紹介も随時受け付
けております。

☆ まずはお気軽にご連絡下さい。詳しくご案内させていただきます。

☆ ご登録・ご相談は無料です。

☆ 健診や外来での撮影業務等、単発からございます。

☆ 受付時間 平 日 9:00 ～ 18:00

株式会社ジャパン・メディカル・ブランチ

フリーダイヤル 0120-08-5801

〒134-0088 東京都江戸川区西葛西6丁目17番5号 FAX:03-3869-5802

E-mail: info@jmb88.co.jp URL: https://www.jmb88.co.jp

一般労働者派遣事業許可: 派13-301371 有料職業紹介事業許可: 13-ユ-130023

News

3月号

会長挨拶

新年おめでとうございます。昨年は皆さまのご協力によって事業も滞りなく開催できた。本年ならびに次年度においては継往開来をコンセプトに、本会が今まで展開してきた事業の受け継ぎと未来に向かって切り開いていきたい。皆さまと共にチームTARTとして本年もよろしく願いたい。

理事会定数確認

出席：19名、欠席：0名

前回議事録確認

前回議事録について確認を行ったが修正意見はなかった。

報告事項

1) 江田哲男 会長

・活動報告書に追加なし。

1月7日に東京都主催の医療従事者ネットワーク会議に参加し、本会から都民祭り、荒川清掃活動、ペイシエントケア学術大会の説明と案内を行った。また看護協会から看護フェスタ参加のお礼を述べられたので報告する。

2) 副会長

関 真一 副会長

・活動報告書に追加なし。

日 時：2025年1月9日（木）

午後7時00分～午後8時10分

場 所：インターネット回線上

出席理事：江田哲男、野口幸作、関 真一、浅沼雅康、鈴木雄一、木暮陽介、市川重司、石田雅彦、高野修彰、市川篤志、竹安直行、江積孝之、渡辺靖志、今尾 仁、鮎川幸司、関谷 薫、島田 諭、布川嘉信、大津元春

出席監事：野田扇三郎、白木 尚

指名出席者：増田祥代（第1地区委員長）、松田敏治（第4地区委員長）、北野りえ（第5地区委員長）、伊佐理嘉（第6地区委員長）、富丸佳一（第7地区委員長）、西郷洋子（第9地区委員長）、澤田恒久（第10地区委員長）、名古屋安伸（第11地区委員長）、吉村 良（第12地区委員長）、長谷川浩章（第14地区委員長）、池田麻依（第15地区委員長）、桐 洋介（国際委員長）、中尾 愛（入会促進委員長）、村山嘉隆（総務委員）、新川翔太（総務委員）

欠席理事：なし

欠席監事：なし

議 長：江田哲男（会長）

司 会：浅沼雅康（副会長）

議事録作成：村山嘉隆、青木 淳、新川翔太

野口幸作 副会長

・活動報告書に追加なし。

浅沼雅康 副会長

・活動報告書に追加なし。

3) 業務執行理事

総務：鈴木雄一 理事

・活動報告書に追加なし。

庶務：木暮陽介 理事

・活動報告書に追加なし。

教育：市川重司 理事

・活動報告書に追加なし。

4) 専門部委員会報告

・活動報告書に追加なし。

5) 各委員会報告

・活動報告書に追加なし。

6) 地区委員会報告

・活動報告書に追加なし。

7) その他

・特になし。

議 事

1) 第77回総会（臨時総会）開催通知

日 時：2025年2月8日（土）15：00～

場 所：Web上

第1号議案：会費に関する規程の改正について

第2号議案：会費減額に関する時限規程の改正について
なお、当日出席できない代議員より委任状の提出
をうけるものとする。

総会資料などの配布については1月22日の総会運
営委員会で決定する。

【承認：19名、保留：0名、否認：0名】

2) SRTA派遣演題について

桐 洋介 国際委員長：

SRTAの派遣演題に関して、国際委員会で審議し
計2演題を採択した。抄録は資料の通りである。ご審
議をお願いしたい。

木暮陽介 庶務委員長：

昨今韓国での政治状況がマスコミなどで報道され
ているが、予定通り開催されるのか。

桐 洋介 国際委員長：

SRTA側からは予定通り開催するという報告を受
けている。状況が変われば報告する。

【承認：19名、保留：0名、否認：0名】

3) 新入退会について

12月：新入会 12名、転入 5名、転出 2名、退会
5名

上記について審議した。

江田哲男 会長：

日本診療放射線技師会から各都道府県の入会員数
に関して報告があった。東京都の入会員数が非常に
伸びており、伸び率では上位3位以内に入っている。
これは、入会促進委員会や各地区の皆さまのご協力
の賜物であり、厚く御礼申し上げます。来月の日本診
療放射線技師会理事会で詳細な報告があるので、そ
の後本理事会でご報告する。

野口幸作 副会長：

今後は退会者を減らす取り組みが重要となる。石
田経理委員長から会費未納者リストが配布されてい
るので、各地区でお声がけをお願いしたい。

【承認：19名、保留：0名、否認：0名】

地区質問、意見

第8地区：

現在理事会はWeb開催が主であり、録画している
動画や音声をHP上で閲覧できるようなシステム構築
は可能か？（編集がとても大変そうだが・・・）

竹安直行 情報委員長：

録画をアップロードすることは可能である。ただ、

データ容量とセキュリティ上の問題がある。

江田哲男 会長：

録画が果たしてメリットになるのかが焦点である。
HP上で公開するには費用が生じる可能性が高い。そ
れよりは、理事会に出席している各地区委員長が詳
細な内容を各地区でお伝えしていただく方が、結束
力が高まり有益であると考えます。

大津元春 第8地区委員長：

地区委員には理事会の詳細を伝えられるが、全会
員には伝わっていない。理事会において、会長の思
いや詳細な審議の様子は、会誌のように文字だけで
は伝わらないと考える。録音データだけでもいいの
で公開できないか。

江田哲男 会長：

当会のホームページは会員専用のページはなく、一
般の方も閲覧可能となっている。理事会では固有名
詞が出たりするため、セキュリティ上や個人情報保
護の観点で問題となる。この地区質問、意見に関し
ては執行部でも再度検討する。

第15地区：

自分達の地区の紹介ページをどのくらいの人が閲
覧したか教えていただくことは可能か？

竹安直行 情報委員長：

Google analyticsを用いれば閲覧数を調査すること
は可能であるが、現在情報委員会で設定中である。今
しばらくお時間をいただきたい。

連絡事項

石田雅彦 経理委員長：

令和7年度予算案について、意見などがあれば1
月17日までに経理委員会まで連絡をお願いする。最
終確認をした後に四谷会計事務所に正式に作成依頼
をする。

高野修彰 渉外委員長：

小野賞と功労賞について、今月中に各地区委員会、
専門部委員会から1名の推薦をお願いする。

江積孝之 広報委員長：

地区委員会からTARTのノベルティの取り扱い(研
修会でボールペンや物差しなどを配布しても良いか)
について質問があった。ノベルティに関しては、会場
型のイベントで非会員に向けての配布が対象になっ
ている。会員向けではない。会場型のイベントで非会
員向けのノベルティになるので、周知をお願いする。

今尾 仁 厚生調査委員長：

11月に実施したアンケートは結果を最終確認中。
会誌の掲載は3月号の予定。2月からは告示研修に関するアンケートを行う。2月号の会誌に告示研修に関するアンケート依頼が掲載される。ご協力お願いする。

市川篤志 学術委員長：

本日までのペイシェントケア学術大会の参加登録は94名、情報交換会の参加登録は20名。当日は皆さまにお手伝いをお願いしたい。会場が8時30分開門のため、集合時間・場所は、8時40分に2階中会議室のロビー前とする。詳しい説明資料は運営メールにて送る。

木暮陽介 庶務委員長：

12月28日(土)に庶務委員会としてTARTの事務所と倉庫の整理整頓をした。

新春のつどいのプログラムを理事会に参加している皆さまに送らせていただく。

渡辺靖志 災害対策委員長

毎年恒例の災害対策の研修会は2月11日に開催予定。参加者が現在1名という状況。他ではできない研修内容なので是非参加していただきたい。皆さまに広報をお願いする。

松田敏治 第4地区委員長：

2月4日(火)に会場型で第4地区研修会が開催予定。皆さまに広報をお願いする。

中尾 愛 入会促進委員長：

入会促進のリーフレットは事務所にも置かせていただく。動画は各研修会などの際に流していただきたい。事務所以外の研修会やハイブリッド開催の場合は、あらかじめ担当者にリーフレットを渡して配布をお願いするなど、開催形式に合わせて臨機応変に対応していく。要望があれば各地区委員長の施設や送付希望場所に送らせていただく。事務所のリーフレット設置場所は決まり次第、運営メールで報告させていただきます。ご協力のほどよろしくお願いする。

桐 洋介 国際委員長：

SRTA派遣は、会長、副会長、国際委員長、発表者2名がTARTからの派遣となる。その他に国際委員2名含む計7名が参加予定。

市川重司 教育委員長：

医学用語集、MRI集中講習会テキストの印税が振り込まれ、医学用語集は改訂版を現在作成中。

今後の予定について（総務委員会）

事業計画案は予算案とともに、3月の理事会で承認をいただきたいので、皆さまには、誤字脱字や申請した内容に間違いがないか再度確認をしていただきたい。

今後の予定について抜けている所があれば、ご指摘をお願いする。

以上

学術講演会・研修会等の開催予定

日時や会場等の詳細につきましては、会誌及びホームページでご案内しますので必ず確認してください。

2024年度

☆1. 日暮里塾ワンコインセミナー

第158回日暮里塾ワンコインセミナー	2025年 3月15日(土)
--------------------	----------------

2. 集中講習会

第13回MRI集中講習会	2025年 3月 2日(日)
--------------	----------------

☆3. 支部研修会

城西支部研修会	2025年 3月 7日(金)
---------	----------------

4. 地区研修会

第15地区研修会	2025年 3月 3日(月)
----------	----------------

第 8 地区研修会	2025年 3月 7日(金)
-----------	----------------

第11地区研修会	2025年 3月14日(金)
----------	----------------

2025年度

1. 学術研修会

☆第23回サマーセミナー	未定
--------------	----

第24回メディカルマネジメント研修会	未定
--------------------	----

☆第23回ウインターセミナー	未定
----------------	----

2. 生涯教育

第74回きめこまかな生涯教育	未定
----------------	----

☆3. 日暮里塾ワンコインセミナー

第159回日暮里塾ワンコインセミナー(フレッシュャーズセミナー合同開催)	Web開催 2025年 5月25日(日)
--------------------------------------	-------------------------

第160回日暮里塾ワンコインセミナー(フレッシュャーズセミナー合同開催)	Web開催 2025年 6月15日(日)
--------------------------------------	-------------------------

4. 専門部委員会研修会

第20回ペイシェントケア学術大会	未定
------------------	----

災害対策委員会研修会	未定
------------	----

5. 集中講習会

第14回MRI集中講習会	未定
--------------	----

☆6. 支部研修会

城東・城西・城南・城北・多摩支部研修会	未定
---------------------	----

7. 地区研修会

☆8. 第25回東放技・東京支部合同学術講演会	未定
-------------------------	----

9. 地球環境保全活動

荒川河川敷清掃活動	未定
-----------	----

10. 東放技参加 行政祭り等	未定
-----------------	----

☆印は新卒かつ新入会 無料招待企画です。

(新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう)

Postscript

➤ の冬、インフルエンザが猛威を振るっています。今シーズンはワクチンの接種率が例年より低かったことに加え、流行開始が早く、多くの方が接種未完了の状態で行方が開始してしまったことから、接種されているワクチンの型と流行しているインフルエンザの型は合っていたにもかかわらず流行が大規模になったと言われています。私の家族もインフルエンザの悪化で入院してしまいました。同居の私は、何かちょっとだるいな、少し咳が出るな位と大きな違いが出ました。私はインフルエンザのワクチンを打っていましたが、入院した家族は打っていませんでした。単純に接種の有無だけとは言えないかもしれませんが。

ワクチンはイギリスの医学者、エドワード・ジェンナーにより史上初のワクチンである天然痘ワクチンが創始されました。そして、フランスの細菌学者ルイ・パスツールが1881年に炭疽菌ワクチンを開発し、科学的なワクチン製造法を確立しました。

『予防接種とは病原体ではないんだけど、病原体の免疫記憶を惹起するような物質を注射して、自分の免疫能を高める、というものです。自分の免疫能を高めることで病気から身を守るわけですから、ここにジレンマが生じます。だってそうですね、健康で病気にならなそうな人のほうがワクチンの効きがよく、身体が弱っている病気の人や高齢者は、自分の免疫能を高める能力が弱いわけですから、ワクチンが効きにくいのです。ワクチンとは、「ワクチンが効く

とよいなあ、という人ほど効きにくい」という本質的なジレンマを持っているのです。

とはいえ、たとえ効が悪くても、ワクチンなしよりはワクチンがあったほうが病気から「より」身を守ってくれる可能性が高くなることが多いです。ここでも「守ってくれる」「守ってくれない」という二元論ではなく、「どのくらい守ってくれるか」という「程度問題」として捉えたほうが妥当でしょう。

ワクチンは、病気を全部チャラにしてくれるほど効くことは少ないですが、全体としては「得をすることが多い」のです。多くの場合は。(絵でわかる感染症 with もやしもんより引用)』

これまでワクチンにより多くの命が救われましたが、効かなかったり、効が悪い人、重篤な副反応や後遺症が一定数出てしまうのもまた現実です。薬もそうですが100%安全ということはありません。重篤な副反応や後遺症を無視することはできませんが、そのためにワクチンを禁止してしまうのはどうかとも思います。国や製薬会社があらかじめ補償についても明確にした上でワクチンの予防接種を進めたらどうかと思います。

『全体としては「得をすることが多い」のです。多くの場合は。』

(すえぞう)

■ 広告掲載社

富士フイルムメディカル(株)
キヤノンメディカルシステムズ(株)
(株)ジャパン・メディカル・ブランド
日本メジフィジックス(株)
長瀬ランダウア(株)
シーメンスヘルスケア(株)

東京放射線 第72巻 第3号

令和7年2月25日 印刷(毎月1回1日発行)

令和7年3月1日 発行

発行所 東京都荒川区西日暮里二丁目22番1 ステーションプラザタワー505号
〒116-0013 公益社団法人東京都診療放射線技師会

発行人 公益社団法人東京都診療放射線技師会
会長 江田 哲 男

振替口座 00190-0-112644

電話 東京 (03) 3806-7724 <https://www.tart.jp/>

印刷・製本 株式会社キタジマ

事務所 執務時間 月曜～金曜 8時30分～16時00分

案内 ただし土曜・日曜・祝日および12月29日～1月4日は執務いたしません
TEL・FAX (03) 3806-7724

編集スタッフ

浅沼雅康

岩井譜憲

森 美加

高橋克行

田沼征一

X線CT装置

NAEOTOM Alpha with Quantum Technology CT redefined.

www.siemens-healthineers.com/jp

The world's first photon-counting CT

イノベーションにより技術が飛躍的に進歩すると、常識が変化することがあります。
世界初*のフォトンカウンティングCTの登場はまさにその瞬間と言えます。
フォトンカウンティング検出器を採用したNAEOTOM Alphaは、CTの定義を一新しました。
QuantaMax detectorは先進的な直接信号変換をベースとして開発されており、
より多角的に臨床情報を得ることが可能になります。

*2022年2月 自社調べ

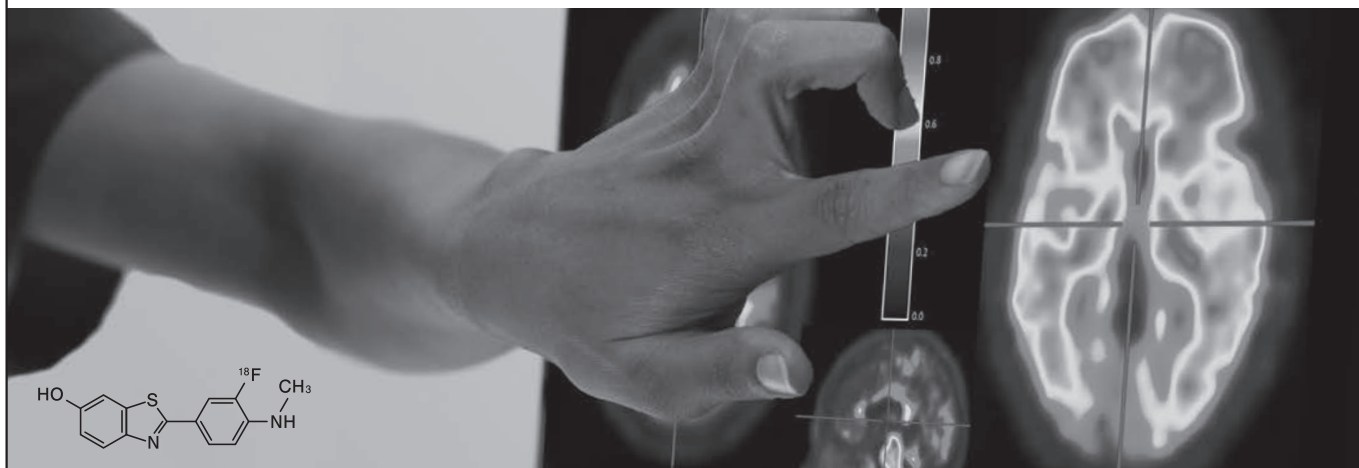


全身用X線CT診断装置 ネオトム Alpha 認証番号: 304AIBZX00004000



SIEMENS
Healthineers

nihon
medi+physics



放射性医薬品・脳疾患診断薬

薬価基準収載

処方箋医薬品^(注)

ビザミル[®] 静注

放射性医薬品基準フルテマトル (¹⁸F) 注射液

®:登録商標

(注) 注意—医師等の処方箋により使用すること

効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等は添付文書をご参照ください。



製造販売元

日本メジフィジックス株式会社

〒136-0075 東京都江東区新砂3丁目4番10号

文献請求先及び問い合わせ先 ☎ 0120-07-6941

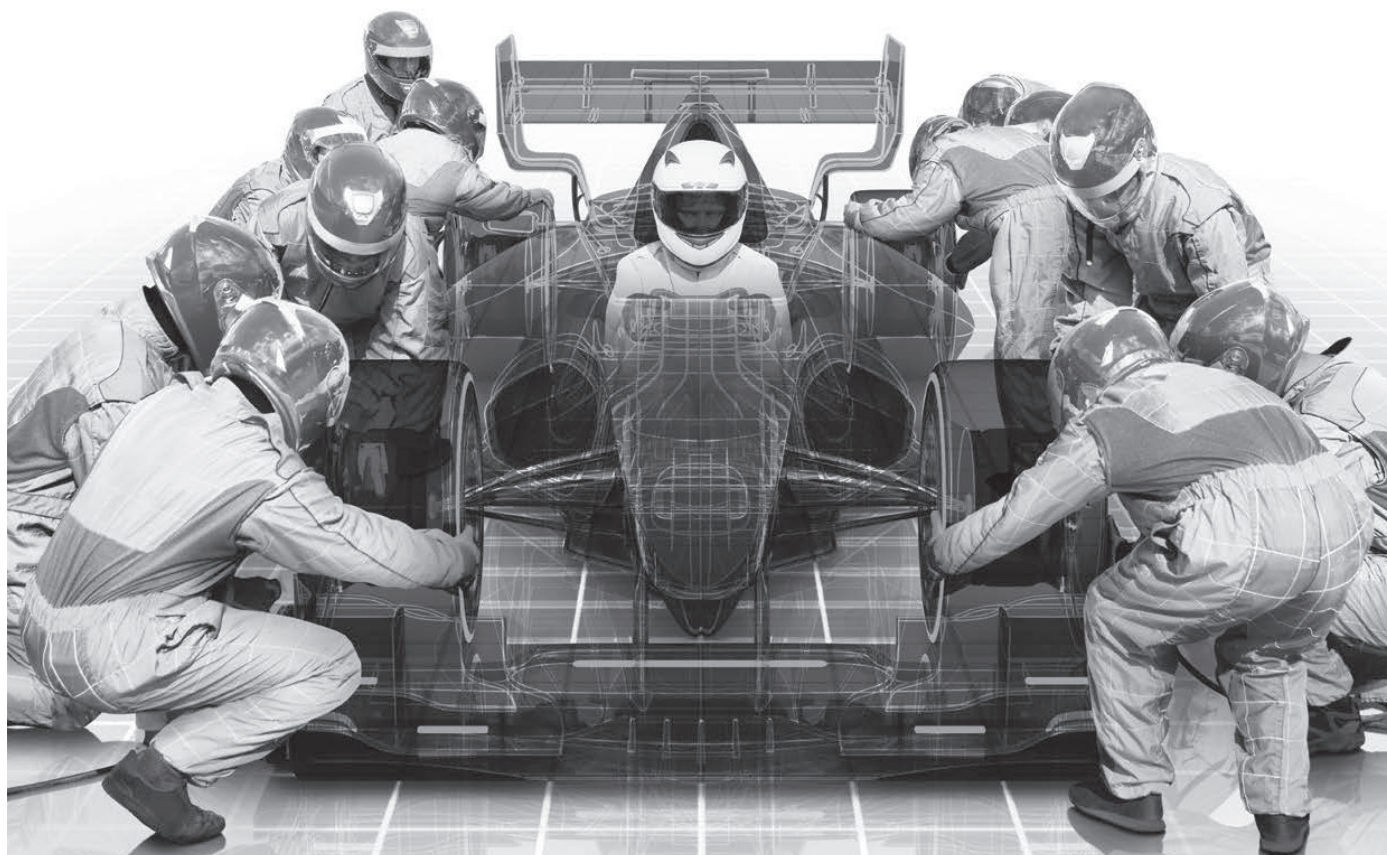
弊社ホームページの“医療関係者専用情報”サイトで
PET検査について紹介しています。

<https://www.nmp.co.jp>

2024年8月改訂

FUJIFILM
Value from Innovation**NEVER
STOP**

最高のチーム医療は、ここから始まる。

SYNAPSE VINCENTの
WEBサイトはこちらから迅速に、的確なゴールを目指して。
— チーム医療を新たな次元に導く3D解析技術 —「SYNAPSE VINCENT」は、高精度な3D画像を描出し、
解析を行う3D画像解析システム。富士フィルムのメディカルAI技術
ブランド「REiLi」による深層学習技術を設計に活用した
術前支援機能なども拡充し、チーム医療の進化に貢献します。**REiLi**

Medical AI Technology

ボリュームアナライザー
SYNAPSE**VINCENT**

販売名:富士画像診断ワークステーション FN-7941型 認証番号:220008ZX00238000

富士フィルム メディカル株式会社 〒106-0031 東京都港区西麻布2丁目26番30号 富士フィルム西麻布ビル tel.03-6419-8040 (代)

<http://fms.fujifilm.co.jp>〒二六〇〇三 荒川区西日暮里二二二一五〇五
発行所 公益社団法人 東京都診療放射線技師会
TEL・FAX(〇三)三八〇六・七七二四印刷所 東京都墨田区立川二一七一七
株式会社 キタジマ

定価 金四二〇円(税込)